eLAつうしん
eライブラリアドバンス
2021年2月号 Vol.191

熊本県高森町立 高森東学園義務教育学校（たかもりひがし）

eライブラリで授業と家庭学習がつながる

～個別最適化された学びの機会を保障～

高森東学園義務教育学校では、「誇り高く、夢大きく、心つながり合える児童生徒の育成」を教育目標に掲げ、全児童生徒・全先生が『誰もがかがやく、全員でかがやく！』学校を目指しています。今回は、学級課題と授業をつなげるeライブラリの実践と先生の工夫をご紹介します。

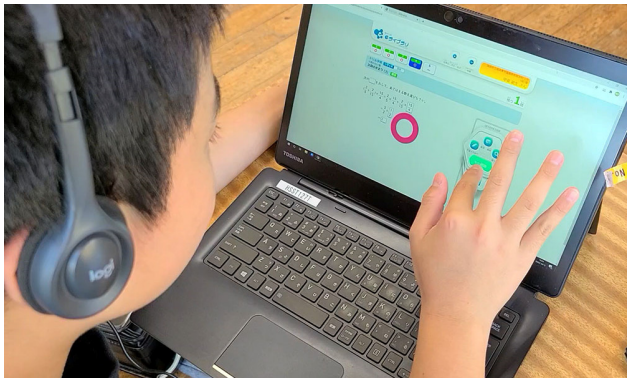
学級課題として家庭で「確認テスト」を実施

▲ 児童に出題した確認テスト

高森東学園義務教育学校では、全学年が学級課題としてeライブラリの「確認テスト」を宿題にしています。「確認テストはクラスの理解度を把握したり、児童生徒が自分の理解度を確認できるので良いです」と石井先生。確認テストは既習事項の復習と位置づけ、課題の出題期限のタイミングで次の課題を設定すると運用しやすいとのことです。

学級課題として家庭で**確認テスト実施** → 授業の導入で**自動個別課題を実施** → 机間指導による**個別フォロー** → 放課後学習の**補充学習で個別指導** → **次の確認テストを出題**

授業の導入は、自動個別課題で理解度に合った学習



▲ 理解度に沿って出題される課題に取り組む

この日の６年の授業は、家庭で取り組んだ確認テストの結果に応じて、個別に出題される「自動個別課題」の課題からスタートしました。

「eライブラリのドリルは、児童一人ひとりの理解度に合った課題が自動で出題されるので、個別最適化された学びが保障できます」と石井先生。児童は、次に自分が取り組む教材に迷うことなく、出題された課題を自分のペースで取り組んでいました。

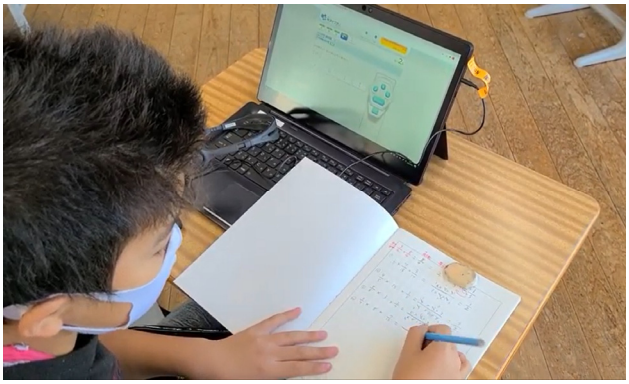
インタビュー　授業と家庭の学習がeライブラリでつながる

これまでeライブラリは、本時のまとめや前時のふりかえり、自主学習など、さまざな場面で利用してきました。特に**自主学習で何から学習したら良いかがわからない児童生徒は、ヒントや解説を確認しながら取り組むことで、学ぶことが明確になるドリルが良い**です。また、**家庭と授業の学習履歴も統合されるため、児童生徒の状況に合った指導にもつながります。**今ではタブレットの持ち帰りによる、家庭学習の質的向上を図ることができていると実感しています。

eライブラリは教科・単元によって活用できる場面がたくさんあると思います。これからも継続的に利用し、児童生徒一人ひとりに寄り添った指導方法を模索していきたいと考えています。

研究主任 情報担当
石井 佑介 先生

自分に合った学習方法を身につけることが大切



▲ 途中式をノートに書き、ふりかえりに活用する

ドリルを使って学習する方法は、児童生徒によってさまざまです。「児童生徒が自主的に学習する方法を選べるようになってほしい」と石井先生。児童は「学習メモ」機能を使って、筆算を画面に書きこんで問題を解いたり、問題と途中式を自学ノートに書いて、ふりかえりに使えるようにしたりと、自分に合った学習方法を見つけ、真剣に取り組む姿が見られました。

先生の工夫

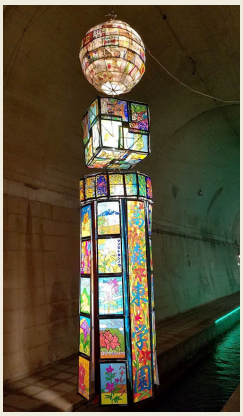
- 授業の導入での取り組み状況から、さらなる個別指導が必要な児童生徒は、放課後の補充学習の時間にフォローする。
- 家庭からｅライブラリの学習画面に接続しやすくするために、学校ポータルサイトに家庭学習画面のリンクを貼る。

▲ 学校ポータルサイト

インタビュー　教員が授業しやすく、児童生徒が学習しやすい環境づくり

高森町教育委員会
審議員
古庄 泰則 氏

高森町では、教育理念に基づき、子どもの学力と豊かな心の醸成を目指した「高森町新教育プラン」を通し、平成２４年から町長の政策で情報通信基盤を段階的に整えてきました。一人一台のタブレットやテレビ会議システムなどを学習ツールとして、現在では遠隔授業やｅライブラリなどさまざまな実践を行っています。また、新型コロナウイルスの臨時休校のときは、高森町内に光ファイバーを整え、インターネットに接続できる環境のない家庭にもＷｉ－Ｆｉルーターを貸し出し、家庭で誰もが平等に学習できる環境も整えました。教員が授業をしやすく、児童生徒が学習しやすい環境づくりをすることが、教育委員会の役割だと考えています。



今後は、児童生徒のさらなる学力向上には、家庭学習の在り方を変える必要があると思っており、タブレットを持ち帰ることにより、授業も変わるのではないかと考えています。**ｅライブラリは、児童生徒が自分の学習進度に合った教材で学習できるため、個別最適化された学びへの基盤づくりには欠かせません。**

全員でかがやく学校を目指して

校長
榎田 雄二 先生

本校では、児童生徒が心から信頼し合える関係をつくれるように『つながり』を一番大切にしています。心のつながりが強まることで、仲間と切磋琢磨しながら夢に挑戦し続ける力になります。そのため「誰もがかがやく、全員でかがやく！」学校を目指し、教職員が一致団結しています。学習活動においては、一斉指導だけでは対応しきれない個別指導をＩＣＴで補える可能性があると考えていました。**ｅライブラリは学習履歴が蓄積し、一人ひとりの理解度に合った教材が出題されるので、個別指導が必要なところを補ってくれる**ため大変重宝しています。

※２０２０年４月リリースのｅライブラリ最新版を利用しています。

LINES
学ぶチカラを、未来のチカラに

ラインズ株式会社
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス4F
TEL:0120-49-7130　FAX:03-6861-6006
https://support.education.ne.jp/ela/